

新基地建設反対名護共同センターニュース

軍事対軍事ではなく平和的な外交と対話こそ！



大行動の最後に「団結頑張ろう！」とパネルを掲げる国会議員や県議と市民ら

オール沖縄会議は5日、キャンプ・シュワブゲート前で辺野古新基地建設に反対する県民大行動を開催しました。県内各市島ぐるみ会議から続々と駆け付けた参加者は766人（主催者発表）に膨れ上がりました。糸数慶子共同代表が「島全体が要塞化されていく。宮古、与那国、石垣などでの日米軍事訓練を止めよう」と呼びかけ、デニー知事が「平和的な外交、対話による緊張緩和が不可欠だ」とメッセージを寄せました。那覇市長選で大健闘した翁長雄治氏が「保守革新が一緒に沖縄の未来をつくっていく」と訴え、福元勇司事務局長が新基地建設中止を求める国会請願署名運動の推進を訴えました。高良鉄美参院議員や仲村未央県議、各地島ぐるみ会議代表がそれぞれ決意を表明しました。元名護市長の稲嶺進共同代表が「継続こそが勝利につながる」と訴えました。

新基地建設断念を求める国会署名運動の成功を！
ゲート前県民大行動に766人結集

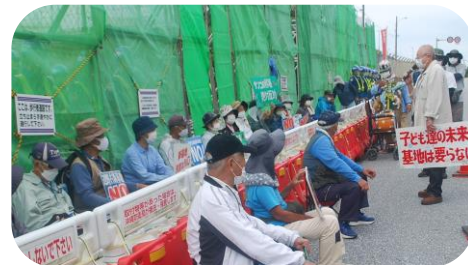
ヘリ基地反対協が総会 共同代表など再選

ヘリ基地反対協議会が1日、2022年度の総会を名護市内で開催しました。仲村善幸共同代表が「知事選で玉城デニー知事の再選を勝ち取った。ゲート前や海上行動での抗議行動をいっそう強め、辺野古新基地建設を必ず断念させよう」と挨拶。仲本興真事務局長が提案した「デニー知事を支え、新基地建設をストップさせる。海上、陸上の現場行動を引き続き取り組む」などの方針を採択しました。共同代表に仲村善幸・豊島晃司・東恩納琢磨の3氏を、事務局長に仲本興真氏を再選しました。個人会員を含む40人が参加、オール沖縄会議の福元勇司事務局長が激励挨拶をしました。



写真中央は、閉会の挨拶をする共同代表の東恩納琢磨氏。

東福岡民商が辺野古連帯行動



ゲート前でマイクを握り連帯の挨拶を行う宇野会長（右端）

東福岡民商の宇野和喜会長ら5人が7日、辺野古ゲート前の座り込みに参加。宇野会長は「沖縄の皆さんの不屈のたたかいに学び、福岡でも日本を戦争する国にさせないために頑張ります」と連帯挨拶をしました。代表はこの後、共同センタースタッフの案内で浜のテントや大浦湾、安和棧橋などを視察。共同センターで辺野古のたたかいの歴史と現状についてレクチャーを受けました。また、名護民商役員と懇談会も行いました。

県民の願いは「基地のない平和な沖縄」

塩川デイにご参加を

本部町島ぐるみ会議は、「塩川港からの土砂搬出を止めよう！」と「塩川デイ」と称し、塩川港での抗議の統一行動を呼びかけています。

○日程 11月21日（月）、22日（火）

午前7時～午後5時

（ご都合のいい時間帯でご参加ください！）

○場所 本部町・塩川港

○呼びかけ 塩川デイ実行委員会

〒本部町山川 979（阿波根気付）090-9783-5926



塩川港で訴える本部町島ぐるみ会議の原田まさ子さん（6月）

島ぐるみ名護がデニー知事の講演
島ぐるみ会議名護は5日、名護市内で総会と玉城デニー知事の講演会を開催し、市民140人が参加しました。デニー知事は、3日に閉会式が行われた世界のウチナーンチュ大会に触れ、今回のテーマは「平和こそが一番」だったと強調。知事は就任以来、首里城火災、豚熱、コロナ禍など相次ぐ災害級の困難に直面しつつも県庁職員が力を合わせて乗り越えてきたと報告。沖縄県民の願う未来は基地のない平和な沖縄であり「新建議書」に込められた「マジジョン、チバラナヤーサイ」（一緒に頑張ってください。マジジョン、うね）と結び大きな拍手を受けました。



会場いっぱい集まった市民を前に「マジジョン、チバラナヤーサイ」と訴えるデニー知事（5日=名護市大北区公民館）